

# あつぎ観光ボランティアガイド協会ニュース



保全センターの半夏生（撮影 阿部会員）

令和2年 7月号 Vol.195  
(2020年)

発行：令和2年 7月 11日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス [atugikanvola@yahoo.co.jp](mailto:atugikanvola@yahoo.co.jp)

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 阿部 啓冊

《当協会ニュース令和2年5月号・6月号発行中止および、企画ガイド中止のお詫び》  
新型コロナ感染症流行防止の影響により、当会の活動ができない状況になったことと、公共施設の閉鎖もあり5月号・6月号の会報が発行できない事になり、皆様に大変ご迷惑をおかけいたしましたことにお詫び申し上げます。

最近の一部ですが活動ができる様になり7月会報をお届けできるようになりました。

また、今期計画の企画ガイドはすべて中止しております。コロナ問題が終息したと判断され次第再開する予定です。

コロナ問題が一日も早く収束することを祈るとともに、今後とも皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

## 《春季観光客入込み調査》

行事区分：行事支援

日 時：6月21日（日）

09：00～16：00

場 所：右記（5箇所）

支 援 者：会員10名（各所2名）

観光客入込み調査結果 (人)

	2019年5月	2020年6月
飯山温泉	1,311	839
七沢温泉	921	874
広沢寺温泉	381	408
七沢森林公園	871	687
相模川三川合流	1,747	1,623
合 計	5,231	4,431

本来は気候の良い5月の中旬に実施する調査ですが、今年はコロナ禍で延期になっていましたが、数日前に政府の県外移動自粛要請も解除になりひと月遅れの実施でした。

しかも梅雨時だけに天気を大変心配しましたが、ますますのお出かけ日和でした。しかし肝心の人出はいまひとつでした。

## 飯山温泉（中飯山自治会館）

飯山観光の目玉は、ハイキング、温泉入浴、飯山観音詣り、それにスポーツイベントが主体ですが、やはり時節柄のコロナ禍の影響で特に行事もなく来場者は少なめでした。

白山・桜山を目指したがあまりにも多いヤマビルに驚き引き返してきた女性ハイカーがいました。

七沢から飯山へ順礼峠・白山経由の山越え高齢者ハイカーグループが下山後の温泉入浴を楽しみにしていたのに温泉宿が閉館で残念がり、一部の人が「七沢温泉で入浴する」と



言って今来たコースを逆に七沢に戻って行かれた健脚にはびっくりさせられました。

またアンケートの返礼に「あゆコロクリアファイル」を差し上げたら皆さん大変好評でした。中には今春厚木市の会社に入社し、親睦会の場所探しに一人で来た東京出身の男性新入社員に「彼女分にもう一枚」と余分に渡したら照れていました。

男性二人組の外国人が通りかかったので英語で話しかけようと「グッド・アフタヌーン」と先ず声を掛けたら、直ぐに「コンニチワ」と予期せぬ日本語で返事が返って来て、一瞬次の英語に詰まってしまった間に通り過ぎて行かれたのには「とてもインバウンド対応には無理だな」と自覚させられたお粗末な一幕でした。

(山田 記)

### 七沢森林公園（出会いの広場）

梅雨時期で不安定な天気が気になりましたが、ときおり高原にいるような涼しい風が背後から吹きつけて快適でした。公園管理事務所のお話では「昨日は、コロナ感染で外出自粛解除後の最初の土曜日で人出が多かった」とのことでした。

同じ外出なら人混みする街中より空気の澄んだ公園が良いと考えるのは当たり前で、当日も想像以上の人出でした。

入園者は幼児や小学校低学年のお子さんを連れた家族連れが殆どでした。

調査拠点の『出会いの広場』でグループが集まる事が多いのですが、この日に確認できたのは1組だけで外出自粛解除になったとは言え集団で行動するのはまだ避けているようです。



入園者のみなさんはマスクをして公園内を散策し、人工の小さい川では子供と一緒にザリガニ釣りをする方もいました。

そんななか3歳位の男の子が小さな川に落ちてしまい、父親が「パパの言う事を聞かないからだ」と言いながら、ドロドロに汚れたシャツ、ズボン、靴を脱がし始末をしていましたので、私の車にあった新しいタオル雑巾を渡して感謝されました。とりあえず怪我も無くよかったです。私は、10人の孫がいて色々経験していますので手助けになりよかったです。

(寺田、森島ち 記)

### 相模川三川合流地点（青少年広場）

午前9時曇天、入り込み調査をスタートする前に既に、川原は200台近くの車が集結し人々が動き回っていました。

モーター系フリーマーケット「エクステンジマート」が開催されていました。



アンケートを取りながら尋ねると「毎月大磯ロングビーチ（夏は相模原市の高田橋）で開いているのだが今年はコロナで会場が閉鎖された為、初めて厚木で開催した。」との事でした。

早朝5時から11時までと聞き、調査を開始する9時前から引き上げて行く車が多かった理由も分かりました。フリーマーケットの盛り上がりはもう既に終わっていました。



それでも、タイヤをはじめバイクや車の部品や用品、ヘルメットなどに混じってTシャツ、アクセサリ、玩具、陶器などはまだ売られていました。

野球場では元気潑刺な小学生以下の子供達、熱心に指導する大人達、グラウンドは爽やかな緊張と楽しさが弾けそうです。長い髪で女の子が男の子に混じっているのが分かります。金網の外では、若い母親達が立ち話をしながら目は

グラウンドの子供を追っていました。

テニスコートでは、7、8人の男女がプレーをしていました。

11時になってフリーマーケットが終了すると少し落ち着いた感じになり、川の中には鮎の釣り人の動かない人影、ゴロ石の河原では形も色も様々なタープが強い風にはためいてバーベキューの煙も上がり、休日らしい風景です。

9時45分に宮ヶ瀬湖を目指して出発した湘南ベルマーレの自転車クラブの面々は12時には戻ってきました。この調査地点では、毎回必ず見送って、出迎える人達です。

午後になると野球場もテニスコートも別のクラブに入れ替わりましたが、野球は小さな子供達、テニスは大人で、午前中と全く同じ雰囲気でも午後も過ぎて行きました。河原はタープが20張り近くまで増えました。

コロナによる長い自粛が緩和され様々な形で経済活動が再開を始めています。みんなの行楽も始まったのだという事がよく分かる日曜日でした。

(前澤 記)

### 広沢寺温泉（七沢観光協会駐車場）

朝、調査場所の駐車場に着いてみると、既に車がいっぱいでした。今まで新型コロナウイルス感染防止のため外出自粛だったものが6月19日に全都道府県をまたぐ移動が解禁になり、初めての日曜日であり、天気も良かったので、大勢のお客様が訪れてきました。車のナンバープレートを見ると、品川、八王子、多摩、練馬、名古屋と県外ナンバーも多くありました。

ハイカーは鐘ヶ嶽、見城～日向山、二の足林道～不動尻へ、家族連れは「ますや」へ、イワナやニジマスの塩焼き・唐揚げを食べに行きました。また子供連れの家族は近くの川で小さなカニを網ですくってきました。目標を決めずに出かけて来て、どこかいい所ありますかという方もいました。



厚木市内の観光地は緑豊かな自然や温泉があり、山あり川ありで、家族・友人で手軽に出かけられる行先として最適であることを実感しました。

(澤田記)

### 七沢温泉（盛楽苑駐車場）

田んぼ越しに来る風がさわやかな入込み調査でした。6月19日に移動の自粛要請が全面的に解除されたからでしょうか、盛楽苑の駐車場は車でいっぱいでした。ここではハイカーの方なども良く見かけますが、まだコロナの不安で電車やバスは避けているのでしよう。ほとんどが車の方でした。その中からツリークロスアドベンチャーの場所を聞かれました。パンフレットをお渡ししたのですが、私は全く知らなくて後でその場所へ尋ねて行きました。



福元館の小林多喜二が逗留していた、離れ家に行く階段を上り、案内の旗を頼りに森の小道を歩いて行くと受付がありました。5階のビルの高さからターザンのように地上に舞い降りる様は、見てもダイナミックでスリルにあふれていました。

綱渡り(左写真参照)やアスレチックコースもあり、アウトドアの好きな家族は非日常的な爽快感を楽しめて病みつきになるそうです。インストラクターから安全講習もあり、事故は一度もありませんとの事でした。ネットで調べて来たという横浜や東京からのお客さんばかりで、意外と地元の厚木の人知らない様です。

こんな面白いアドベンチャーワールドがある厚木をもっとPRして、お帰りは温泉でひと汗流すというプランとして広く知ってもらいたいと思いました。

立ち寄って下さった三人の方からアンケートを頂きクリアファイルをお渡しすると「おう～」という表情をされて喜ばれたので私も嬉しくなりました。途中ポツポツと顔に雨が当たりましたが、天気もくずれる事なく無事入込み調査を終了する事が出来ました。

(佐々木 記)

## トピック

### 新型コロナウイルスと旅行者の動向

6月に国土交通省から「4月の鉄道利用状況」、(公)日本交通公社から「新型コロナウイルス下での観光客動向の調査結果」が公表されましたので、今回行われた観光客入込み調査報告の参考として、その概要を報告します。

国土交通省の数字を見ると、2月頃から鉄道利用が大きく落ち込み始めたことがわかります。昨年4月と本年4月を比較すると利用者数では54.5%、旅客人キロ(利用者数×移動距離)では42.7%のマイナスという結果でした。

この結果から、単に利用者が減少しただけではなく、長距離を移動する人も少なくなっていたことがわかります。(表1、表2)

表1 鉄・軌道旅客輸送量(旅客数量)の推移

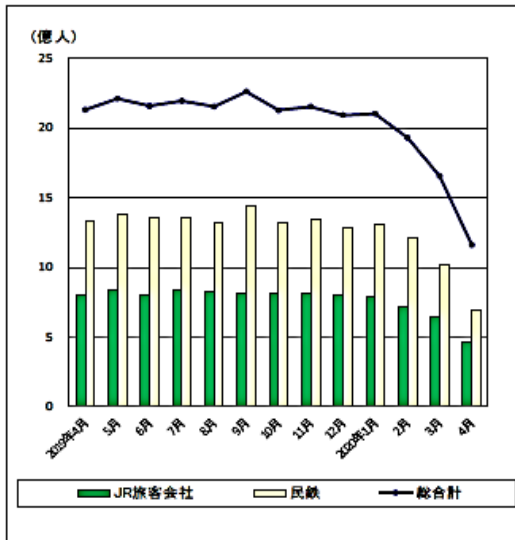
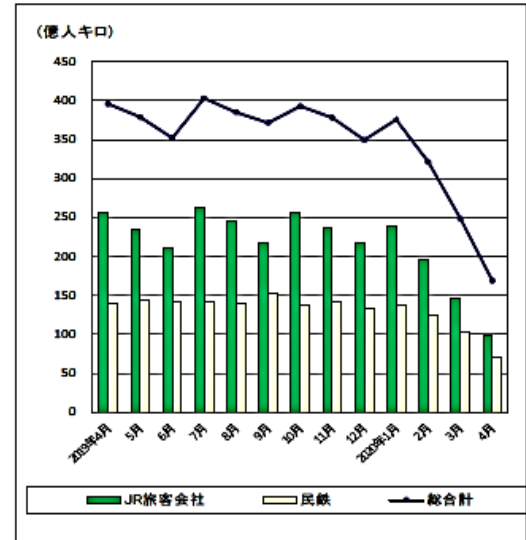
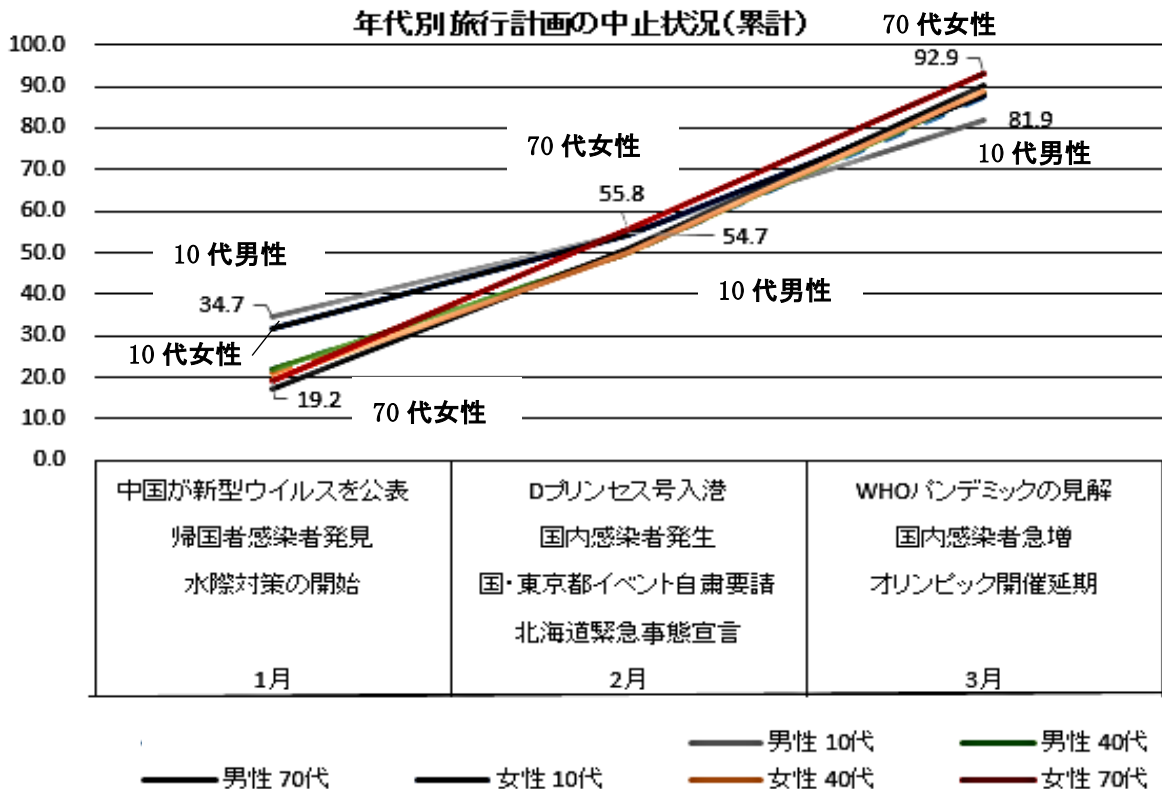


表2 鉄・軌道旅客輸送量(旅客人キロ)の推移



この季節は旅行計画を中止した方も多かったと思いますが、(公)交通公社による調査から国内旅行計画について、世代別に、いつ頃、中止を決めたかグラフにしてみました。

すると10代から70代の男性・女性に関わらずグラフが重なっており、世代や男女の区別なくほぼ同じ時期に中止を決定したことがわかりました。ただ、その中でも若い世代の動きは比較的早く10代男性は1月に30%以上の方が旅行中止を決定していたようです。2月には全世代で50%以上の旅行が中止され、3月に入ると年齢の高い世代による中止が多くなり、全体では90%近くの計画が中止されていました。



旅行を中止した理由(複数回答)では8割を超える方が「自身の感染リスクを避けるた



め」と回答、次いで「同行者の感染リスクを避けるため」となっていますが、3月に入ると「自粛要請が出たため」「同行者が延期・中止したいといった」が多くなっています。

調査では、今後の予定についても聞いています。これによると「これまで以上に旅行に行きたい」という方は全体の15.1%、「これまでと変わらない」は51.0%となっており旅行願望は高いようです。一方、「これまでのようには旅行に行きたくない（頻度・回数を減らしたい）」が5.9%、「まったく旅行に行きたくない」も3.9%あったということです。（編集担当）

参考：鉄道輸送統計調査速報（国土交通省 6月30日）

新型コロナウイルス感染流行下の日本人旅行者の動向（その1、その2）（公）交通公社 6月1日、7日

## 最近の活動

日 時	場 所	内 容	参 加 者
6月 13日	アミューあつぎ	定 例 会	会員 19名
6月 25日	七沢観光案内所	臨時編集会議	会員 7名
7月 4日	アミューあつぎ	役 員 会	会員 7名
7月 6日	寿 荘	編 集 会 議	会員 6名

## 令和2年7月・8月 行事

日 時	行 事	会場・場所	内 容	申 込 先
7月 11日(土) 10:00~13:00	定 例 会	アミューあつぎ	マスク着用 定員 22名	サークルスクエア
8月 1日(土) 09:00~12:00	役 員 会	保健福祉センター	—————	サークルスクエア
2日(日) 09:00~16:00	夏季観光客入込み調査	市内5箇所	支援者 10名	サークルスクエア
8月 8日(土) 10:00~13:00	定 例 会	保健福祉センター	マスク着用 定員 20名	サークルスクエア

お願い 行事予定が決まりましたら、阿部あてメールでご連絡下さい。

提出期限は定例会の1週間前（編集会議と印刷のため）

## 編 集 後 記

巻頭の写真は七沢の自然環境保全センター植物園で見られるハンゲショウの群生です。七十二候の一つに「半夏生」がありますが、これに由来する「半夏」という名称の薬草とは別の植物です。湿地に群生する植物で、上部の葉の一部が白くなることから「半化粧」「片白草」と呼ばれていたのが、いつの間にか「半夏生」と呼ばれるようになったといわれているようで、7月上旬は群生地が一面に白く輝く風景を見ることができます。この季節を過ぎると葉に浮かんでいた白い模様は消えてしまいます。

編集委員 阿部 啓冊 澤田 正弘 高野 宏  
寺田 敏 長谷川 和美 三平 与志子